

あっぱれ 議会だより

No. 112

2024・2
(令和6年)



- ★ 2名の議員から3件の一般質問
- ★ 令和5年第4回定例会 全議案可決
 - ・ 補正予算に小中学校へのエアコン設置工事費
 - ・ 高温障害等に見舞われた農業者の救済措置を求める意見書





鉢呂議員の
一般質問の動画はこちら

一般質問

愛別町猟友会への 出動要請は公務か



はちろ さとし
鉢呂 悟 議員

町長 万一の場合は非常勤職員の公務災害補償の対象となる

問 近年日本全国各地でヒグマなどの有害鳥獣による事案や事故が数多く発生し、北海道においてもヒグマによる死亡事案が数件発生している。愛別町においては人身事案は発生していないが、ヒグマなどの発見情報などが町民から数多く寄せられている。注意喚起をFM告知放送などで行っているが、町民の生命に危機が迫っているのが現状である。有害鳥獣による農作物の被害も数多く発生しており、猟友会の存在は町民の安心に大きく貢献しているのではないかと思う。

しかし、愛別町猟友会の出動要請は警察なのか行政なのか等の疑問があり、次の項目について町長に伺う。

① 愛別町猟友会への要請はどの機関から行うのか。また、要請に関する愛別町猟友会との協定書などはあるのか。あるのであれば資料を提示して頂きたい。

② 出動要請に伴う日当や費用弁償の金額は。また、万が一の人身事故などが発生した場合の補償等の現状は。

③ 愛別町において有害鳥獣の駆除とはどの動物を指定しているのか。また、駆除処分料金はいくらかなのか。

④ 駆除や狩猟した動物の処分や、資源の有効利用などを目的とする広域連携による施設の建設などの計画はあるのか。

以上の4項目について伺う。

答 矢部町長 ①要請につきましては、愛別町鳥獣被害対策実施隊設置要綱の第5条の規定に基づき、愛別町から要請いたします。また、協定書につきましては、同要綱で定める隊員のため、愛別町猟友会との協定書は交わしていません。

②出動要請に伴う日当につきましては、同要綱の第9条の規定に基づき、報償金として1日あたり6,200円、ただし、1日4時間未満の場合は3,100円となっております。費用弁償につきましては、特別職の職員の給与に関する条例を参考に車賃として1km当たり37円となっております。

また、万一人身事故などが発生した場合につきましては、同要綱第8条の規定のとおり、町村非常勤職員の公務災害補償等に関する条例に基づき、当該災害に対する補償を行います。

③有害鳥獣の動物の指定につきましては、愛別町鳥獣被害防止計画において捕獲等に関する取り組みを定めている獣種は、エゾシカ、ヒグマ、アライグマ、キツネとなっております。その他に被害防止のため、道からの権限委譲により町長が捕獲等を許可している鳥獣は、カラス及びキジバトとなっております。

④捕獲したシカ・ヒグマの鳥獣処理に

つきましては、ハンターが解体し、一般廃棄物処理場に搬入処理を行います。また、持ち帰りが困難の場合には、捕獲現場で埋設します。捕獲した鳥獣の有効利用につきましては、広域連携による施設計画は現時点ではございません。

〔 駆除金額 〕

鳥 獣	有害鳥獣緊急捕獲支援事業 (道補助金)	猟友会 (令和4年度)
エゾシカ	7,000円	道補助外捕獲 5,100円
ヒグマ	8,000円	+解体処理10,000円/人
アライグマ	1,000円	+2,000円
キツネ	1,000円	+2,000円
カラス、キジバト		500円



星議員の
一般質問の動画はこちら

一般質問



星 はじめ 議員

①愛別ファミリースキー場の利用料金を無料にするべきではないか ②愛別町小中一貫教育の計画について伺う

町長

- ①中学生以下の利用料について検討する
- ②小中一体型の義務教育学校として新築する予定で協議中

愛別ファミリースキー場の利用料金を無料にするべきではないか

問 愛別ファミリースキー場を無料のスキー場として開放をする事で、町民がスキー場をより利用しやすい環境になり、冬のスポーツ振興が更に進み、町外からの利用客も増えるのではないかと。

町内の小・中学生の料金だけでも無料にして、料金徴収をする以上の町づくりの効果が期待できると考える。

答 矢部町長 現在、1日券の料金は、小学生以下で110円、中学生は220円、高校生以上は330円。(令和4年度のリフト券での収入額は、小学生が5万3,350円、中学生が3,300円、高校生以上が11万1,320円で、合計16万7,970円)。経年劣化によるリフトのワイヤー更新や、ナイター照明のLED化等の課題を抱えており、全ての利用者を無料にすることはできない。

しかし現在、B&G海洋センターの体育館とプール、トレーニングルームは、町内の中学生以下を無料としていることもあり、当町の子育て環境、子どもスポーツ環境の改善を目的として、町内の中学生以下の利用料についての検討をさせていただく。

再質問 もし、小学生と中学生を無料にした場合、スキー場の運営に影響はないのか。

答 矢部町長 私が町長の間は心配い

らない。頑張つて運営してまいります。

愛別町小中一貫教育の計画について伺う

問 校舎は新築あるいは改築されるのか。

答 馬場教育長 校舎につきまして、小中一体型の義務教育学校として新築する予定で協議をしている。

問 建設予定地は。

答 馬場教育長 建設場所は、現在の愛別小学校の敷地か、南町の美深高等養護学校あいべつ校の第2グラウンドのいずれかの予定で協議している。現在の愛別小学校の敷地内に建設する場合は、既存の体育館を活用する予定である。

問 計画のタイムスケジュールと運用開始年度は。

答 馬場教育長 今年度中に小中一貫教育に関する教育方針と基本計画を策定、令和6年度に基本設計、和7年度に実施設計、令和8年度から建設工事を着工し、令和9年度の完成を目指して、運用開始年度は、令和10年度を予定している。

問 予算規模はどれくらいになるか。

答 馬場教育長 計画がまとまるまで予測はできないが、校舎建設とグラウンドや駐車場等の整備、校舎解体、設計費用等を含め、相当の事業費が想定される。財源としては、国からの施

設整備に係る交付金を含め、あらゆる補助金等を活用し、一般財源の負担軽減に取り組み考えている。

問 町民、特に教育関係者、保護者の意見を広く聴く機会はあるのか。

答 馬場教育長 「愛別町小中一貫教育調査検討委員会」において、小・中学校の校長、幼児センター及び小・中学校の保護者代表、また、地域代表者等にも委員として参画いただき、幅広く意見をいただいている。今年度中に基本計画を策定する予定であることから、来年度の早い段階で保護者と教職員への説明会を実施し、広報あいべつ等を活用しながら、町民の皆さまへの周知も図っていく。パブリックコメント的に意見を求める事も考えている。

問 新校舎になったらスクールランチはどうなるのか。

答 馬場教育長 システムを引き継ぐ方向で話し合いが進められている。

問 非常に大きな事業になるので、愛別町らしさを盛り込むべきだと考えるが、町長・教育長の考えは。

答 馬場教育長 ハード面では、相当な建設費用が予想され、建築面積は必要最小限に抑えたい。教育面での、小中一体型の新たな教育環境の中で、地域との連携や協働により、ふるさとキヤリア教育を行い、地域を愛する人材の育成を中心とした愛別町としての特色ある教育を行うべく、協議を進めてく。

町議会審議結果

◇第4回臨時会		議決年月日 令和5年10月16日
議案番号	件名	結果
議案第57号	財産の取得について	原案可決
議案第58号	令和5年度愛別町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
◇第5回臨時会		議決年月日 令和5年11月27日
議案番号	件名	結果
議案第59号	愛別町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第60号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第61号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第62号	愛別町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号	令和5年度 愛別町一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第65号	令和5年度 愛別町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第66号	令和5年度 愛別町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第67号	令和5年度 愛別町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第68号	令和5年度 愛別町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第69号	愛別町保健福祉条例の一部を改正する条例	原案可決
◇第4回定例会(1日目)		議決年月日 令和5年12月14日
議案番号	件名	結果
調査報告第4号	総務福祉常任委員会所管事務調査報告	報告済
調査報告第5号	経済文教常任委員会所管事務調査報告	報告済
議案第70号	愛別町オートキャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第71号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第72号	愛別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第73号	愛別町営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第74号	連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について	原案可決
議案第75号	令和5年度愛別町一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第76号	令和5年度 愛別町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第77号	令和5年度 愛別町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第78号	令和5年度 愛別町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第79号	令和5年度 愛別町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第80号	令和5年度 愛別町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
◇第4回定例会(2日目)		議決年月日 令和5年12月15日
議案番号	件名	結果
調査報告第6号	経済文教常任委員会所管事務調査報告	報告済
議案第81号	令和5年度愛別町一般会計補正予算(第9号)	原案可決
発議第18号	高温障害による農作物被害など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済措置を求める意見書について	原案可決
発議第19号	愛別町小中一貫教育調査特別委員会の設置について	原案可決

第4回臨時会

令和5年10月16日、第4回臨時会が開催されました。以下に主な審議内容を掲載します。

◆一般会計

歳入歳出それぞれ2,203万9千円を増額し34億4,985万9千円とする。

主な歳入

【総務費】
デジタル化推進基金繰入
2,061万4千円増

主な歳出

【総務費情報管理費】
DX推進事業 役場庁舎情報系ネットワーク無線化設備工事
2,061万4千円増

第5回臨時会

令和5年11月27日、第5回臨時会が開催されました。以下に主な審議内容を掲載します。

◆一般会計

歳入歳出それぞれ1,706万9千円を増額し34億6,692万8千円とする。

する。

主な歳入

【民生費】
民生費道補助金 50万円増
財政調整基金繰入金 1,659万9千円増

主な歳出

【社会福祉総務費】
冬の生活支援事業 465万7千円増
軽度生活支援 176万円増

【職員給与費】

職員給与費 907万1千円増

第4回定例会

令和5年12月14日から15日にかけて、第4回定例会が開催されました。以下に、主な審議内容を掲載します。

◆愛別町営住宅条例の一部を改正する条例

提案理由

令和5年度に、愛別町東町221番地3にあった振興住宅1139・40を取り壊したことから、同条例の別表から当該振興住宅を削除し別表を改める。

反対討論

横井議員 既に取り壊しが完了しているのに、附則で「この条例は、公布の日から施行する」となっているため、賛成できない。
※用途廃止の条例改正が先でなければ、条例上は存在するはずの振興住宅が存在しない期間が生じてしまう。

採決結果

賛成6名（伊藤、林、竹内、阿木、鉢呂、星）
反対2名（横井、奥）

◆一般会計 補正予算（第8号）

歳入歳出それぞれ2,035万4千円を増額し、総額を34億4,657万4千円とするもの。

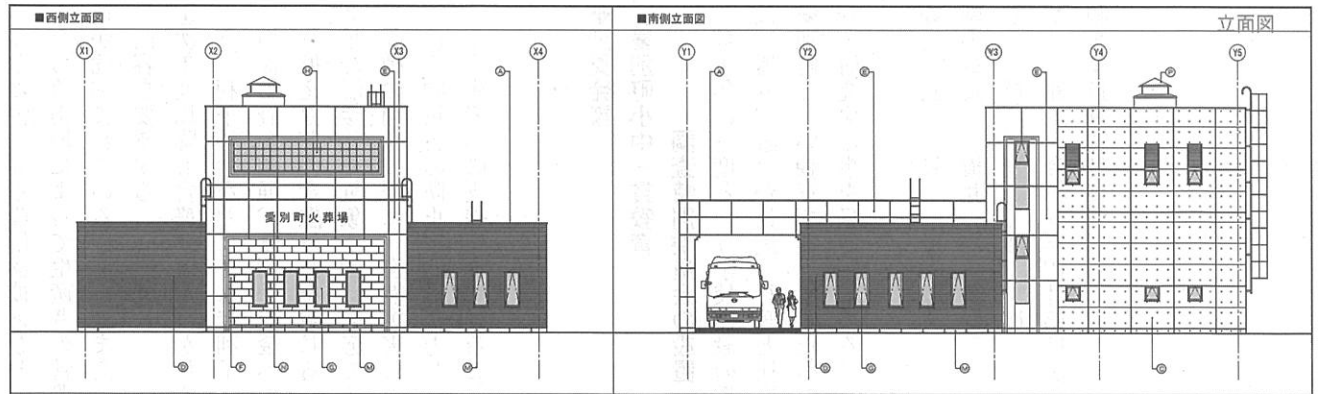
主な歳出

【予防費】

・予防接種実施事業において、ワクチンの単価高騰、接種者の増加により、乳幼児等予防接種業務として、その委託料 58万2千円増

【生活環境費】

・火葬場建設工事実施設計業務の事業費確定に伴うその他委託料 431万2千円減



建設予定の火葬場の立面図

【診療所費】

・国民健康保険診療所事業特別会計における補正予算に伴う、一般会計からの繰出金 783万9千円減

【農業振興費】

・良質米生産対策事業において、低タンパク米の俵数及び特別栽培米等の事業実績見込額の減に伴い、良質米生産対策事業交付金 334万円減
※各議員から、当該事業に代わる支援策を求める意見が多く出された。

【商工振興費】

・商工業活性化支援事業における申請予定者の増加に伴い、商工業活性化支援事業補助金 289万3千円増

【住宅管理費】

・住宅管理経費において、新規入居者の増加に伴う修繕料 150万円増

【消防費】

・大雪消防組合本部及び愛別消防署経費における補正予算の財源調整本部経費負担金 996万3千円減
・消防署経費負担金 52万7千円減

◆一般会計 補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ1億424万1千円を増額し、総額を35億5,081万

5千円とするもの。

主な歳入

【地方交付税】

・普通交付税の再算定により、増額交付とされた普通交付税 2,270万1千円

【教育費国庫補助金】

・小中学校におけるエアコン設置工事に係る「公立学校建物大規模改修(空調)事業」の財源として、学校施設環境改善交付金 1,009万7千円
小学校費補助金 445万2千円
中学校費補助金 445万2千円

【物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金】

・緊急の物価高騰対策として同交付金が創設されたことから、対象事業に係る財源 4,475万2千円増

【教育債】

・学校教育施設等整備事業債
「公立学校建物大規模改修(空調)事業」の財源 2,910万円増

主な歳出

【企画費】

・「低所得世帯支援給付金給付事業」の受給世帯にあたらなかった全世帯

を対象に、1世帯あたり1万5千円分の商品券を配布する「課税世帯物価高騰対策支援事業」として消耗品費ほか関係経費 1,381万1千円増

【社会福祉総務費】

・住民税非課税世帯を対象に、1世帯あたり7万円の給付金を給付する「低所得世帯支援給付金給付事業」として消耗品費ほか関係経費 3,387万8千円増

・町内の介護・障がい者サービス施設等を対象に、物価高騰による影響緩和のため、「介護・障がい者福祉サービス施設物価高騰対策臨時支援金交付事業」として、手数料ほか関係経費 340万6千円増

【学校管理費】

・小学校のエアコン設置工事費 3,029万2千円増
・中学校のエアコン設置工事費 1,335万7千円増

発議

◆意見書

□高温障害による農作物被害など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済措置を求める意見書

高温障害による農作物被害など、さらなる負担増によって生産者の営農継続が危ぶまれている状況を踏まえ、次の内容を要望する。

- ①次年度以降も営農継続がはかれるよう、利子補給などによる無利子・無担保の資金融通、無利子資金への借り換えなどの金融対策を講じること。
- ②地球温暖化や気象変動に順応できる品種の開発並びに、自然災害による農作物被害の防止に向け努力している生産者への支援策を講ずること。

◆議員発議

□愛別町小中一貫教育

調査特別委員会の設置
数十年に一度という学校建設の重要性に鑑み、議会が住民・行政と連携し、愛別町らしい教育を実現するための調査・研究する事を目的とする。

委員長 星 肇 議員
副委員長 横井 均 議員
委員 全 議員
期 間 令和5年12月15日から令和8年11月30日まで

常任委員会報告

◆総務福祉常任委員会

◆調査日 令和5年10月16日

◇火葬場の今後の計画について

税務住民課から提出された資料に基づき説明を受けた。

※愛別町火葬場建設工事実施設計業務（公募型プロポーザル方式）

令和5年

6月30日 審査結果発表と最適候補者等への通知

【最適事業者】

株式会社柴滝建築設計事務所・株式会社宮本工業所共同企業体
※今後の事務スケジュール

令和6年

2月 建築確認申請

3月 令和6年度愛別町
一般会計予算（案）提出

火葬場の今後のスケジュール説明を受け、各委員より質疑応答を経て終了した。

◇愛別町自転車用ヘルメット購入費

助成事業の実施について
総務企画課から提出された資料に基づき調査を行った。

道路交通法の改正により、令和5年

4月から自転車に乗る人全員にヘルメット着用が努力義務となった（罰則なし）。このことから、町民の自転車の利用による交通事故の被害を軽減するために、自転車用ヘルメット着用を普及させるために、この事業を実施する。

【補助対象者】

令和6年4月1日以降にヘルメットを購入した愛別町民

【補助対象経費】

SGマーク等の安全基準に適合しているマークが貼付された新品の自転車用ヘルメットの経費

【助成額】

中学生以下・購入額の全額
（上限 6,000円）
それ以外の町民・購入額の半額
（上限 3,000円）

【助成方法】

口座振込み
申請回数 町民1人につき1回限り

【事業費】

中学生以下200人×6,000円
120万円
それ以外の町民 1,000人×3,000円
300万円
合計420万円



交通安全教室の様子

◇愛別町公共施設等総合管理計画の改定について

総務企画課より「愛別町公共施設等総合管理計画」について、令和2年度に「愛別町個別施設設計画」を策定し、令和4年4月に「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が改定されたことから、公共施設等を最適に維持管理し、有効活用を図る取り組みについては、「愛別町個別施設設計画」により進めていくと説明があった。
各委員より質疑応答があり、今後の

施設計画については個別に対応し、個別施設計画については事前に説明すると総務企画課より発言があり調査を終了した。

◆調査日 令和5年11月1日

◇高齢者等交通費助成事業について

保健福祉課から提出された継続案件の愛別町高齢者等交通費助成事業について説明を受けた。

【対象者要件】

現行の「町民税非課税世帯に属する者」に、「自己及び配偶者が運転免許証を有していない者」（課税・非課税は問わない）を加える。

※これにより、事業開始当初から対象外だった町民税課税の高齢者・障がい者のうち、運転免許証を有していない等で移動手段に不便や困難を捉えている方が新たに助成対象となる。各委員より質疑応答を経て終了した。

◇軽度生活援助事業（除雪サービス事業）について

愛別町除雪サービス事業費補助金交付要綱第5条に規定している補助対象経費（作業単価）について、作業実態を勘案した単価見直しを行い、また、事業の安定的な実施と作業の担い手確保のため、利用者負担についても見直

す等の説明後、各委員より質疑応答があり調査を終了した。

◇愛別町保健福祉条例の一部改正について

愛別町保健福祉条例中の手数料の徴収に関する規定を削り、各事業の実施要領中に規定することと整理し、例規の整備を行うための条例の一部を改正すると説明があり、各委員より質疑応答があり終了した。

◇令和5年度冬の生活支援事業の実施について

コロナ禍以降、原油価格高騰や生活関連商品などの価格上昇が続いており、灯油配送価格も上昇しており、今後、暖房使用の需要期をむかえることから、「令和5年度冬の生活支援事業」を実施すると説明があった。

対象世帯 令和5年12月1日（基準日）現在、愛別町の住民基本台帳に登録されている、町民税非課税世帯の世帯主

助成額 一世帯あたり 1万円

各委員より質疑応答があり終了した。

◆調査日 令和5年11月27日

◇愛別町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

税務住民課から産前産後期間の保険税の減額について説明があった。

減額期間

出産（予定）月の前月から出産（予定）月の翌々月 ↓ 4か月

※2人以上の多胎妊娠の場合

出産（予定）月の3か月前から出産（予定）月の翌々月 ↓ 6ヶ月

説明を受けた後、各委員より質疑応答を経て終了した。

◆経済文教常任委員会

◆調査日 令和5年10月16日

◇あいべつ体験農園の休園について

都市と農村の交流目的で平成10年度に計画数88区画で開設されたあいべつ体験農園は町内外の利用者が平成17年度に77利用区画をピークに令和5年度は18利用区画と年々利用者が減少している。又、管理棟の老朽化（トイレ配水管漏水等）に伴い令和7年度から休園する。

休園後は当面公園として活用する説明を受け調査を行った。

各委員からは質疑、今後の利活用の



あいべつ体験農園の管理棟

意見を経て調査を終了した。

◆調査日 令和5年12月15日

◇愛別町の小中学校の

エアコン設置について

教育委員会から提出された資料に基づき、調査を行った。

今年の夏は熱中症警戒アラートが発出されるなど猛暑の影響を受けたことから、来年度以降も熱中症の危険性が高く、子ども達の命と健康を守るため整備が急務であるので、エアコンの設

置について、資料に基づき、以下のよう内容で実施する旨、説明を受けた。

小学校 普通教室6、特別支援教室5、保健室1、児童保育室2

中学校 普通教室3、特別支援教室2、保健室1

各教室に天井吊形（天井）を設置する露出型のエアコンを設置する。小学校の児童保育室の奥の部屋と保健室は家庭用ルームエアコンを設置する。

事業費 4,349万9千円

（小学校 3,209万2千円、中学校 1,335万7千円）

財源 学校施設環境改善交付金

1,454万9千円
（事業費の3分の1の補助率）

補正予算債 2,930万円
一般財源 3万4千円

工期 令和6年3月～6月

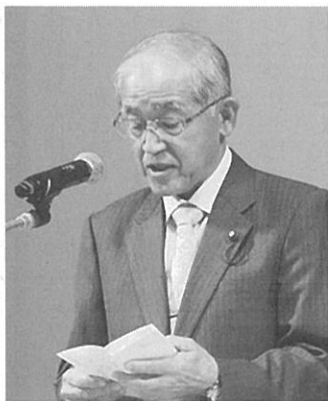
（遅くとも夏休み終了まで）

以上の説明を受け、各委員から質疑、意見をjて調査を終了した。

研修会報告

◆上川管内町村議会議員研修会・北海道市議会議長会道北支部議員研修会

令和5年度、上川管内町村議会議員研修会・北海道市議会議長会道北支部議員研修会が10月19日、13時30分から17時まで旭川市公会堂にて開催され、議員全員と事務局2名が参加しました。講演の前には、当町の中山議長が上川町村議会議長会の会長として、主催者代表の挨拶をしました。



中山英一議長

講師は早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏で、演題は「住民から期待される議会になろう」でした。中村氏は「JR四国社員を経て、平成11年27歳で徳島県川島町の町長に初当選し、全国最年少の首長となり、2期8年を務めました。その後、平成16年に川島町を含む4町村が合併し吉野川市が発足するにあたり、地方自治の

探究をするために早稲田大学大学院公共経営研究科に入学しました。早稲田大学マニフェスト研究所で研究員を兼務しながら、大学院を修了。現在は議会改革度ランキングを発表していることなどで知られている早稲田大学マニフェスト研究所の事務局長をされています。また、早稲田大学政治経済学術院非常勤講師と地方政府研究所株式会社代表取締役の肩書を持ち、この他に長野県高森町まちづくりアドバイザーなど全国自治体の行政及び議会の活動を多数支援されています。

まず初めに、全国の先進事例が紹介されました。岐阜県可児市議会では、駅前の子育て支援拠点施設の建設にあたって、子育て中の女性が参加する「ママさん議会」を開催し、議会としての提言書を作成。それを市の執行部に提出し、その内容のほとんどが採用された施設が出来たとの事でした。

また、長野県高森町の行政改革の中の、議会改革の内容が紹介されました。「子育ては教育委員会と福祉課の仕事であり、建設課がやることではない。」という認識がこれまでの考え方でしたが、「子どもたちの為により良い公園を造ることが建設課の子育て支援である」との考えから、親たちとの意見交換を実施しました。ここでの要望から、



講師の中村健氏

公園の池を改修し、公園の駐車場は、子どもの乗り降りしがしやすくなるように駐車スペースを拡げて白線を引き直しました。そして、建設課と母親たちが意見交換をしながら事業を進めている事に着目した議会も、積極的に町民との意見交換を実施しようと改革を進めているとの事でした。

講演の中では先進的な自治体の事例や、議会改革の根幹となる考え方を学びました。特にこれからの議会改革は、議会が地域経営に資する組織になることが重要であり、これから行おうとすることや自治体で懸案になっていることを、住民の意見を聞きながら共に考えるという住民参画がより重要であるという事を教えて頂きました。私自身も9人の議員の一人として議会に送り出したいと思っています。住民に寄り添う議会を目指し、相手を尊

重し、しっかりと議論しつつ、果たすべき役割を協力して果たしていくという決意を新たにしました。(伊藤 記)

◆議会改革等調査特別委員会 行政視察報告(浦幌町議会)

令和5年11月16日、議会改革の先進地である浦幌町議会を視察しました。浦幌町議会は新任女性議員3名を含む11人で構成されており、ベテランの秀幸議長を含む6期以上の経験をされている方も3名在籍しています。若手中堅、ベテランの議員がバランスよく配分され、議会全体の構成は非常に調和がとれている議会であると感じました。

平成23年から第1次議会の活性化、平成27年から第2次議会の活性化として、浦幌町議会は様々な取り組みを行ってきました。これには議会基本条例の施行、町民懇談会、町民アンケート、議会モニター制度、なり手不足の解消に関する施策などが含まれ、広範な領域で議会の活性化に向けて努力をされています。

視察のはじめに、議会改革等調査特別委員会でも用意していた質問事項に回答をいただきました。主に、愛別町で行われていない町民アンケートや町民懇談会について質問しました。回答を

ただ、浦幌町議会では町民の声を聴く機会が多くあると感じました。アンケート、意見箱、年に1回の議会報告会、年4回のまちなかカフェ、町議会など、町民の声を聴取する一方で、各議員が自らの考え方も発信しつつ、交流する機会も設けているようです。全体の質疑応答の後、浦幌町議会からの提案で2つのグループに分かれてのグループワークが行われました。全体質疑では聞けなかったような細かい事や、新任議員の方へ個別に聞きたかった事を各議員から質問することができました。浦幌町議会は議会改革の先進地であり、会議や懇談のノウハウをしっかりと持っている議会であると再確認しました。

浦幌町議会と愛別町議会を比較すると、町民の意見を聴く「広聴」の機能に明らかな差が感じられました。愛別町議会では平成25年と平成29年に議会懇談会が行われましたが、その後の定期的な開催は無く、議員個人による町民からの意見聴取のみが行われている現状です。

今回、浦幌町議会を視察して、各議員の考え方、議会の雰囲気、目標としていることについて、愛別町議会とのギャップを感じました。この視察を一つの契機として、愛別町議会でも町民



浦幌町議会の議場にて

の声を受け入れる態勢を早急に整備し、議員1人1人の個性や考え方を示せる場を設けたいと思いました。町民の皆さんに期待される議会となることになり手不足の解消にも寄与するのではないかと思います。

この研修結果を受けて、議会改革等調査特別委員会では今後の方針について検討中です。透明性があり、効果的な取り組みを進め、町民の皆さんから期待される議会を目指してまいります。

(星 記)

議会のあしあと

11月

- 1日 総務福祉常任委員会
- 3日 議会改革等調査特別委員会
- 16日 愛別町表彰式
- 16日 議会改革等調査特別委員会 (浦幌町議会視察)
- 17日 オンライン研修会
- 20日 大雪浄化組合議会
- 27日 鹿茸処理組合議会
- 27日 上川中部福祉事務組合議会
- 27日 議会運営委員会
- 27日 全員協議会
- 27日 第5回 臨時会
- 27日 総務福祉常任委員会

12月

- 7日 全員協議会
- 7日 議会運営委員会
- 14日 タブレット導入特別委員会
- 14日 議会広報特別委員会
- 14日 全員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 14日 第4回 定例会 (1日目)
- 15日 議会改革等調査特別委員
- 15日 経済文教常任委員会
- 15日 議会運営委員会
- 15日 全員協議会

- 21日 第4回 定例会 (2日目)
- 21日 議会広報特別委員会
- 22日 大雪消防組合議会

1月

- 6日 愛別消防出初式
- 9日 議会広報特別委員会
- 12日 議会広報特別委員会
- 16日 議会広報特別委員会

【お詫びと訂正】

議会だより令和5年11月号(111号)に掲載しました記事に誤りがありました。

■8ページ 選挙管理委員の氏名

(正) まるやま 丸山 幸子
 (誤) まるやま 丸山 幸子

ご迷惑をおかけしましたことをお詫びすると共に、ここに訂正させていただきます。

